



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月7日

上場会社名 前澤給装工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6485 URL http://www.qso.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本晴紀  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長兼経理部長 (氏名) 谷口陽一郎 TEL 03-3716-1512  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	18,222	△1.6	2,048	8.5	2,057	6.8	1,380	5.2
2019年3月期第3四半期	18,523	△1.1	1,886	△10.0	1,926	△11.1	1,312	△10.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,572百万円 (38.5%) 2019年3月期第3四半期 1,135百万円 (△32.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	121.21	—
2019年3月期第3四半期	113.30	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	41,361	34,654	83.8	3,056.52
2019年3月期	40,715	33,765	82.9	2,942.83

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 34,654百万円 2019年3月期 33,765百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	17.00	—	20.00	37.00
2020年3月期	—	17.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	20.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	1.1	2,580	1.8	2,620	2.0	1,800	3.5	155.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	12,000,000株	2019年3月期	12,000,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	662,199株	2019年3月期	526,177株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	11,388,689株	2019年3月期3Q	11,581,078株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想については添付資料のP. 2をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ① 全般の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き、底堅く推移しているものの、製造業においては輸出や生産に弱含みが続いており、景気に停滞感が見え始めました。また、米中貿易摩擦の長期化に伴う中国経済の減速や英国のEU離脱問題などにより、海外経済は先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業に関わる新設住宅着工戸数は、消費増税前の駆け込み需要により、持家等で一部の増加はありましたが、全体としては前年を下回る水準で推移しました。主要原材料の銅価格は、前年同期比で低下しているものの、人件費や運送費などの増加が続き、事業環境は厳しさを増しております。

このような状況下、当社グループは、給水装置事業については安定したシェアを確保するとともに、耐震性の高い製品の販売を展開してまいりました。住宅設備事業についてはハウスメーカーへの営業推進などによる事業規模の拡大を目指してまいりました。

これらの結果、売上高は、前年同期比1.6%減の182億22百万円となりましたが、経常利益は、材料価格の低下や製品価格改定の効果により、前年同期比6.8%増の20億57百万円となりました。

## ② セグメント別の状況

## 〔給水装置事業〕

給水装置事業におきましては、配水ポリエチレン管用などの耐震化製品の販売増加があったものの、他の止水栓類の販売が減少し、売上高は前年同期比1.2%減の107億35百万円となりました。セグメント利益は、材料価格の低下や製品価格改定の効果により、前年同期比8.2%増の34億68百万円となりました。

## 〔住宅設備事業〕

住宅設備事業におきましては、戸建向け製品およびガス会社向けの暖房部材は増加しましたが、消費増税により、第3四半期会計期間に入り住宅設備製品全般の需要が低下し、売上高は前年同期比0.1%減の36億82百万円、セグメント利益は、生産工程の改善が寄与し、前年同期比4.6%増の7億82百万円となりました。

## 〔商品販売事業〕

商品販売事業におきましては、給水装置関連部材の販売減少が続き、売上高は前年同期比2.0%減の33億95百万円、セグメント利益は前年同期比3.0%増の3億33百万円となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	13,287	13,051
受取手形及び売掛金	5,639	5,327
電子記録債権	4,697	4,910
有価証券	—	100
商品及び製品	3,452	3,890
仕掛品	104	119
原材料及び貯蔵品	947	1,132
その他	130	137
流動資産合計	28,260	28,669
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	2,165	2,069
機械装置及び運搬具(純額)	524	511
土地	4,622	4,622
建設仮勘定	60	106
その他(純額)	135	150
有形固定資産合計	7,507	7,461
無形固定資産	309	281
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,766	3,383
長期貸付金	9	7
保険積立金	1,677	1,438
繰延税金資産	93	14
その他	94	109
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	4,637	4,949
固定資産合計	12,455	12,692
資産合計	40,715	41,361

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,483	4,424
電子記録債務	146	119
未払法人税等	400	251
賞与引当金	194	60
役員賞与引当金	54	42
その他	794	926
流動負債合計	6,073	5,825
固定負債		
繰延税金負債	—	107
退職給付に係る負債	816	736
資産除去債務	4	4
その他	55	32
固定負債合計	876	881
負債合計	6,949	6,706
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,358	3,358
資本剰余金	3,711	3,711
利益剰余金	26,826	27,784
自己株式	△914	△1,175
株主資本合計	32,982	33,678
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	759	1,013
為替換算調整勘定	118	26
退職給付に係る調整累計額	△94	△64
その他の包括利益累計額合計	783	975
純資産合計	33,765	34,654
負債純資産合計	40,715	41,361

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	18,523	18,222
売上原価	12,958	12,356
売上総利益	5,565	5,866
販売費及び一般管理費	3,678	3,818
営業利益	1,886	2,048
営業外収益		
受取利息	9	13
受取配当金	39	42
保険解約返戻金	4	17
その他	24	27
営業外収益合計	78	101
営業外費用		
売上割引	25	25
為替差損	11	36
保険解約損	—	29
その他	1	0
営業外費用合計	38	91
経常利益	1,926	2,057
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	34	—
子会社清算益	16	—
特別利益合計	51	0
特別損失		
固定資産売却損	23	—
固定資産除却損	2	4
特別損失合計	26	4
税金等調整前四半期純利益	1,951	2,052
法人税等	639	672
四半期純利益	1,312	1,380
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,312	1,380

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,312	1,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△130	253
為替換算調整勘定	△69	△91
退職給付に係る調整額	22	30
その他の包括利益合計	△176	192
四半期包括利益	1,135	1,572
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,135	1,572

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2019年5月20日開催の取締役会決議に基づき、2019年5月21日に自己株式100,000株を取得いたしました。また、2019年11月8日開催の取締役会決議に基づき、2019年11月11日から2019年12月31日までの期間に自己株式36,000株を取得いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が261百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,175百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	給水装置 事業	住宅設備 事業	商品販売 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,863	3,687	3,465	18,015	507	18,523	—	18,523
セグメント間の内部売上高 または振替高	0	209	16	226	1,221	1,448	△1,448	—
計	10,863	3,897	3,482	18,242	1,729	19,972	△1,448	18,523
セグメント利益	3,206	748	323	4,278	233	4,511	△2,624	1,886

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の給水給湯システムの設計・施工及び販売、水道用給水装置の標準品の製造事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△2,624百万円は、セグメント間取引消去△2百万円及び各報告セグメントに配分されていない全社費用△2,622百万円であります。各報告セグメントに配分されていない全社費用は、主に提出会社の報告セグメントに配分されていない全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	給水装置 事業	住宅設備 事業	商品販売 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,735	3,682	3,395	17,813	409	18,222	—	18,222
セグメント間の内部売上高 または振替高	1	181	14	196	1,173	1,370	△1,370	—
計	10,736	3,863	3,409	18,009	1,583	19,593	△1,370	18,222
セグメント利益	3,468	782	333	4,584	224	4,809	△2,761	2,048

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の給水給湯システムの設計・施工及び販売、水道用給水装置の標準品の製造事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△2,761百万円は、セグメント間取引消去△10百万円及び各報告セグメントに配分されていない全社費用△2,750百万円であります。各報告セグメントに配分されていない全社費用は、主に提出会社の報告セグメントに配分されていない全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## （重要な後発事象）

## （株式取得による会社の買収）

当社は、2020年1月17日開催の取締役会において、住商メタレックス株式会社（以下、「住商メタレックス」といいます。）のリビング・ソリューション事業部（以下、「対象事業部」といいます。）を会社分割（吸収分割）により承継する「前澤リビング・ソリューションズ株式会社」（以下、「対象会社」といいます。）の株式の全てを取得することを決議し、当社の子会社とすることについて、住商メタレックスと同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

## 1. 株式取得の目的

当社は、水道用給水装置製造・販売を主力事業として、「きれいな水」「安全な水」「おいしい水」の提供を通じ、安定した事業基盤を構築いたしました。その後、住宅設備分野にも進出し、屋内給水・給湯配管部材の販売に積極的に取り組み、集合住宅のみならず、戸建住宅向けの販売を強化した結果、大手ハウスメーカーや地場住宅メーカーの部材として採用されるなど、その規模を拡大させてまいりました。

住商メタレックスは、非鉄金属製品の国内販売会社として発足して以来、非鉄製品に留まらず、快適な生活空間を創造するため次世代エネルギーをはじめ、様々な分野へグローバルに事業を展開しております。対象事業部は、温水床暖房に使用されるマットのファブレスメーカーとしての事業を中心とした暖房設備部材及び住環境部材の販売を行っております。

この度、当社は住商メタレックスの対象事業部を承継する対象会社の全株式を取得することによって、住商メタレックスが築いてきた大手ガス会社をはじめとする安定した取引基盤を引継ぐことにより、当社住宅設備事業の新たな販売チャネルとして規模拡大を実現できること、また給水装置メーカーとして培ってきた当社の技術力を融合することで、対象事業部の事業が将来の当社収益基盤の一角となり得るものと考えております。

## 2. 株式取得の相手先の名称

住商メタレックス株式会社

## 3. 買収する会社の名称、事業内容、規模

(1) 名称：前澤リビング・ソリューションズ株式会社

(2) 事業内容：暖房設備部材及び住環境部材の開発、設計、製造、販売

(3) 規模：資本金 310百万円（予定）

純資産 未定

総資産 未定

※ 対象会社が、住商メタレックスの対象事業部を会社分割（吸収分割）により2020年3月31日に承継いたしますので、確定した最終事業年度はありません。住商メタレックスにおける対象事業部の直前の事業年度（2019年3月期）の売上高は6,200百万円であります。

## 4. 株式取得の時期

2020年3月31日（予定）

## 5. 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

(1) 取得株式数：未定（発行済全株式を取得予定）

(2) 取得価額（概算）：前澤リビング・ソリューションズ株式会社の普通株式	1,500百万円
アドバイザー費用	50百万円
合計	1,550百万円

(3) 取得後の持分比率：100%

※ 取得価額については、公平性・妥当性を確保するため、第三者算定機関による株式価値の算定結果を勘案し決定しております。